伊坂研究室の歩み

西暦	できごと
1992.4 (~2003.3)	立命館大学理工学部 助教授
1992.4 (~1999.3)	体育会重量挙部 部長
1993.4(~現在)	公益社団法人日本ウエイトリフティング協会 スポーツ医科学委員会 委員
1993.4 (~1994.3)	平成4年度日本オリンピック委員会スポーツ 医・科学研究『バーベルの軌跡からみた スナッチ動作の習熟度の検討』(共同研究)
1994.3	トレーニング科学研究会『トレーニング科学研究会賞』
1994.4 (~1995.3)	平成5年度日本オリンピック委員会スポーツ医・科学研究『一流男子リフター のスナッチ動作の特徴』(共同研究)
1995.4 (~1996.3)	ジョージア工科大学 客員研究員
1995.4 (~1996.3)	平成6年度日本オリンピック委員会スポーツ医・科学研究『中国女子 リフターのスナッチ動作の特徴』(共同研究)
1996.4 (~1998.3)	科学研究費助成事業「基盤研究C」『血中乳酸濃度を指標とした有酸素的能力 評価方法の効率化の検討』(研究分担者)
1996.4 (~2001.3)	日本学術振興会未来開拓学術研究推進事業『マイクロメカトロニクス・ ソフトメカニクス:人間との機械的親和性を重視した生活支援福祉 ロボティクス』(研究分担者)
1996.4 (~1997.3)	平成7年度日本オリンピック委員会スポーツ医・科学研究『女子エリート・ウエイトリフターのスナッチ技術』(共同研究)
1997.4(~1998.3)	スポーツ強化対策室 副室長
1998.4(~2003.3)	スポーツ強化センター 副センター長
1998.4(~2000.3)	科学研究費助成事業「奨励研究(A)」『筋活動と関節トルクからみた持ち上げ動作の解析』(研究代表者)
1998.4 (~1999.3)	平成9年度日本オリンピック委員会スポーツ医・科学研究『スナッチ動作中 の床反力左右差と競技力』(共同研究)

1998.4 (~2000.3)	滋賀ウェルフェアテクノハウス研究『筋力 活用型歩行動作支援装具の開発』 (研究代表者)
1999.4 (~2019.3)	体育会男子陸上競技部 部長
1999.4 (~2000.3)	平成10年度日本オリンピック委員会スポーツ 医・科学研究『スナッチ動作中の関節 トルク・筋電図』(共同研究)
2000.4 (~2002.3)	京都体育学会 監事
2000.4 (~2001.3)	平成11年度日本オリンピック委員会スポーツ医・科学研究『1988年世界 選手権におけるスナッチ技術:バーの軌跡からみた失敗の要因』 (共同研究)
2001.4 (~2005.3)	滋賀県障害者スポーツ協会 競技力向上委員
2001.4 (~2004.3)	科学研究費助成事業「基盤研究(C)」『スポーツ動作の特異性を考慮したトレーニングマシーンの開発』(研究代表者)
2001.4 (~2003.3)	科学研究費助成事業「基盤研究(B)」『水中における多関節構造体の パラメータ推定を用いないダイナミクス解析』(研究分担者)
2001.4 (~2002.3)	平成11年度日本オリンピック委員会スポーツ医・科学研究『ウエイト リフティング選手における等速性筋力の左右差』(共同研究)
2002.4(~現在)	公益財団法人日本オリンピック委員会 強化スタッフ
2002.4 (~2010.3)	京都体育学会 理事
2002.4 (~2012.3)	滋賀県体育協会 理事
2002.4 (~2004.3)	滋賀県健康福祉ビジネス産業化セッション事業調査・研究『中高年者 における四肢筋肉量のデータベース作成』(研究代表者)
2002.4 (~2003.3)	(財)滋賀県産業支援プラザ「平成14年度滋賀県提案公募型産学官新技術開発事業」『体調監視,健康管理機能を有するジョギング支援システムの開発』(研究分担者)
2002.6 (~2011.5)	滋賀県体育協会スポーツ科学委員会 委員
2003.4 (~2010.3)	立命館大学理工学部 教授
2003.4 (~2004.3)	平成14年度国立スポーツ 科学センター委託研究 『ウエイトリフティング におけるスキル評価基準 の策定』(共同研究)
2003.4 (~2004.3)	2003年度(財)ミズノスポーツ振興会スポーツ医科学助成『携帯型デジタル体調モニター装置を応用した長距離選手用トレーニングシステムの開発』(研究代表者)
2003.6 (~2004.8)	2009年第7回ワールドマスターズゲームズ招致委員会 委員

2004.4 (~2007.3)	科学研究費助成事業「基盤研究(B)」『ハイブリッド型モーターによる 高精度・高速度・高出力のパワートレーニング機器の開発』(研究代表者)
2004.4 (~2005.3)	(財) 滋賀県産業支援プラザ『診断・治療のためのマイクロ体内ロボットの開発に関する研究』 (研究代表者)
2004.4 (~2006.3)	(財) 滋賀県産業支援プラザ「滋賀県健康福祉産業創出支援事業費」 『客観的データに基づく高齢者のトータルフィットネス維持・向上支援 システムの開発』(研究者代表者)
2004.6(~現在)	特定非営利活動法人びわ湖健康・福祉コンソーシアム 理事
2004.9 (~2005.9)	テキサス大学 客員研究員
2005.4 (~2006.3)	平成17年度電源地域活性化先導 モデル事業『眠りの森』事業 (びわ湖健康・福祉コンソーシ アム) 『「眠りの森」事業: 睡眠健康サービス産業の展開』 (共同研究)
2005.7	特許出願「身体動作の学習支援 システム及び学習方法」 (特開2005-198818)」
2005.10 (~2007.2)	第19回日本トレーニング科学会大会 事務局長
2006.4 (~2009.3)	総合理工学研究機構 副機構長
2006.4 (~2012.3)	滋賀県立草津東高等学校 学校評議員
2006.4 (~2007.3)	特定非営利活動法人健康サービス産業振興機構(サービス産業創出支援 事業)『食・体・知・こどもサイエンススクール事業』(研究代表者)
2006.6 (~2008.5)	草津市教育委員会 草津市社会教育委員
2006.10 (~2007.12)	滋賀県地域結集型共同研究事業研究交流促進会議 委員
2007.1 (~2008.12)	研究推進プログラム『高齢者を運動指導者へ養成するプログラム開発とその 効果の検証』(研究代表者)
2007.2 (~2009.3)	公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団 評議員
2007.2 (~2020.9)	公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団チャレンジ助成事業 審査委員
2007.4(~現在)	特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会 参与
2007.4 (~2010.3)	科学研究費助成事業「基盤研究(B)」『舞踊動作のデジタルアーカイブ化と 身体動作解析等に関する総合的研究』(研究分担者)
2007.4 (~2008.3)	独立行政法人科学技術振興機構「平成19年度シーズ発掘試験」『ヒトの 筋出力特性を三次元曲面により評価する新手法』(研究代表者)
2007.4 (~2008.3)	私立大学学術研究高度化推進事業(社会連携研究推進事業)『ロボティクス が創成する新しいライフスタイル』(研究分担者)
2007.4 (~2008.3)	(財) 滋賀県産業支援プラザ「健康・福祉産業創出支援事業調査委託事業: 健康サービス事業のニーズ調査ならびに将来を探る調査」『現場の声が 創る!』(研究代表者)
2007.4 (~2009.3)	(財)滋賀県産業支援プラザ「滋賀県提案公募型産学官新技術開発事業」 『IT活用型健康サポートサービスシステムの開発』(研究代表者)

2007.4 (~2008.3)	研究の国際化推進プログラム『生体工学ならびにロボット工学分野融合による 「ヒトの動作習熟」解明の国際共同研究』(研究代表者)
2007.6 (~2009.3)	健康もりやま21推進協議会 委員
2007.7 (~2009.3)	研究推進プログラム(基盤研究)『機械的インピーダンス制御による トレーニング装置の開発 – 脳科学への応用 – 』(研究代表者)
2007.7	特許出願「筋力訓練装置及び筋力特性評価方法(特許第4956808号)」
2007.11 (~2010.3)	トレーニング科学 編集委員長
2007.11 (~2016.3)	日本トレーニング科学会 理事
2007.12 (~2009.11)	日本学術振興会科学研究費委員会 専門委員
2008.4 (~2011.3)	科学研究費助成事業「基盤研究 (C)」『機械的インピーダンス 制御マシーンを活用した局部選択 型筋カトレーニングの提案』 (研究代表者)
2008.4 (~2010.3)	科学研究費助成事業「基盤研究 (C)」『モーションキャプチャ と生体情報の同時計測による舞踊 動作の定量化』(研究分担者)
2008.4 (~2009.3)	研究の国際化推進プログラム(多彩な国際連携スタートアップ)『生体工学 ならびにロボット工学分野融合による「ヒトの動作習熟」解明の国際共同研 究』(研究代表者)
2008.6 (~2010.3)	スポーツ健康科学部・スポーツ健康科学研究科設置委員会 事務局長
2008.12	SI2008(第9回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会) 『優秀講演賞』(共同受賞)
2009.4(~現在)	公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団 理事
2009.4(~現在)	京都府競技力向上対策本部ジュニア選手育成専門部会 委員
2009.4	特許出願「トレーニング装置(特開2010-259607)」
2009.9(~現在)	日本体力医学会 評議員
2010.4(~現在)	立命館大学スポーツ健康科学部 教授
2010.4 (~2016.3)	立命館大学スポーツ健康科学部 副学部長
2010.4 (~2013.3)	科学研究費助成事業「基盤研究(B)」 『筋不動化による筋有酸素能低下に関連する 要因の解明』(研究分担者)
2010.4 (~2015.3)	R-GIRO研究プログラム『統合型スポーツ健康 イノベーション研究』(研究代表者)
2011.4 (~2014.3)	科学研究費助成事業「基盤研究 (C)」『球技の実時間3次元計測によるトレーニングと ゲーム分析に関する研究開発』(研究分担者)
2011.11	第24回日本トレーニング科学会大会『トレーニング科学賞大賞』
2011.12	研究推進プログラム(基盤研究)『筋の形態的特徴が短距離走の疾走動作に 与える影響』(研究代表者)
2012.4 (~2021.3)	一般社団法人日本体育学会 代議員

2012.4 (~2015.3)	科学研究費助成事業「基盤研究(B)」『特定部位の筋機能を強化する トレーニング・システムの開発』(研究代表者)
2013.10 (~2017.3)	R-GIRO研究プログラム 『多世代交流型運動空間 による健康増進研究拠点』 (研究代表者)
2013.4 (~2016.3)	科学研究費助成事業「挑戦的萌芽研究」『スマートフォンを用いたマーカー レスモーションキャプチャーによる動作評価と訓練支援』(研究分担者)
2013.10 (~2015.3)	JST COI-T(トライアル)『運動を生活カルチャー化する健康イノベー ション』(研究代表者)
2014.4 (~2018.3)	科学研究費助成事業「挑戦的萌芽研究」『MR画像の自動判別法ならびに特定 部位の筋・脂肪量からの運動能力推定法の開発』(研究代表者)
2014.4 (~2017.3)	科学研究費助成事業「基盤研究(C)」『足部力発揮能力を決定する解剖機能的 役割の解明と新たな転倒予防トレーニングの開発』(研究分担者)
2014.4 (~2017.3)	科学研究費助成事業「基盤研究(C)」『ヒートショックプロテインが筋力向上 に与える効果の解明とトレーニングへの応用』(研究分担者)
2014.4 (~2015.3)	研究推進プログラム(基盤研究)『スプリント走加速区間において腕振り 動作は直接的に疾走速度の増加をさせるか?』(研究代表者)
2014.5	平成26年度『ひらめき☆ときめきサイエンス推進賞』
2014.8	特許出願「身体動作の練習支援システム(特開2016-47219)」
2014.11	第27回日本トレーニング科学会大会『トレーニング科学賞奨励賞』 (共同受賞)
2014.12	第6回日本トレーニング指導者協会指導者研修・交流会 第1回研究・実践発表 『優秀研究賞』(共同受賞)
2015.4 (~2019.3)	日本バイオメカニクス学会 理事
2015.4 (~2022.3)	JST COIプログラム『運動の生活カルチャー化により活力ある未来をつくるアクティブ・フォー・オール拠点』(研究代表者)
2015.4 (~2018.3)	科学研究費助成事業「基盤
2015.4 (~2018.3)	科学研究費助成事業「基盤研究(B)」『長距離選手のパフォーマンスの向上に 特化した次世代型トレーニングシステムの開発』(研究代表者)
2015.4 (~2018.3)	科学研究費助成事業「挑戦的萌芽研究」『直観的操作が可能な技能定量評価 システムの開発と体育授業の学習場面への応用』(研究分担者)

2015.4 (~2016.3)	研究の国際化推進プログラム『多角的・次世代型スポーツ科学解析から 捉えたランニングパフォーマンスの決定因子』 (研究代表者)	
2015.4	特許出願「下肢トレーニング装置(特許第6589354号)」	
2015.10	スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス2015 実行委員長	
2016.4 (~2018.12)	立命館大学スポーツ健康科学部 学部長	
2016.4 (~2019.3)		
2016.4(~2020.3)	バイオメカニズム学会 理事	
2016.4 (~2020.3)	科学研究費助成事業「基盤研究(B)」『軟部組織の粘弾性特性を考慮した 次世代筋骨格系シミュレーション基盤の構築』(研究分担者)	
2016.9	第24回日本バイオメカニクス学会大会 組織委員長 第24回 日本バイオメカニクス学会大会	
2017.1 (~2018.12)	(社)全国大学体育連合理事 近畿 支部長 未来。バイオメカニクス。解人	
2017.3	伊坂研究室公式ロゴマーク 完成	
立		
2017.4 (~2021.3)	科学研究費助成事業「基盤研究(C)」『足アーチの弾性的特性と足部の筋活動からみた足アーチ構造の機能的意義の再考』(研究分担者)	
2017.4 (~2022.3)	R-GIRO研究プログラム『感覚統合をコアとした健康行動継続学の創成』 (研究分担者)	
2017.11	日本音楽知覚認知学会平成29年度秋季研究発表会『ポスター選奨』 (共同受賞)	
2018.2 (~2022.1)	スポーツ庁競技スポーツ課等技術審査委員会 専門員	
2018.4(~現在)	一般社団法人大学スポーツコンソーシアムKANSAI 代表理事/会長	
2018.4 (~2020.3)	スポーツ庁委託事業(女性アスリートの育成・支援プロジェクト)『女性 球技アスリート(バスケットボール)のための新たな傷害予防システムの 提案:膝傷害発生リスク判別ツールの開発とオーダーメイド型傷害予防 プログラムの提言』(研究代表者)	
2018.4 (~2020.3)	スポーツ庁委託事業・独立行政法人日本スポーツ振興センター再委託事業 「ハイパフォーマンススポーツセンターの基盤設備(スポーツ技術・開発 事業)」『戦略的な生体リズム調整によるベストコンディション達成 システムの開発』(研究代表者)	
2018.4 (~2020.3)	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構「人工知能技術適用によるスマート社会の実現」『IoT・AI支援型健康・介護サービスシステムの開発と社会実装研究』(研究分担者)	
2018.4 (~2022.3)	科学研究費助成事業「基盤研究(B)」『体重移動による姿勢制御メカニズムに 基づく機能的バランストレーニングの開発』(研究分担者)	
2018.6(~現在)	大阪商工会議所スポーツ産業振興委員会 委員	
2018.10	第31回日本トレーニング科学会大会『トレーニング科学賞奨励賞』 (共同受賞)	

2019.1(~現在)		学校法人立命館 副総長
2019.1(~現在)		立命館大学 副学長
2019.3(~現在)		一般社団法人大学スポーツ協会(UNIVAS)理事
2019.4(~現在)		日本バイオメカニクス学会 理事長
2019.4 (~2022.3)		科学研究費助成事業「基盤研究(B)」『クロス ブリッジおよびタイチンの弾性に着目した反動 動作による筋力増強メカニズム解明』(研究 分担者)
2019.4 (~2022.3)		科学研究費助成事業「挑戦的研究(萌芽)」 『全天球カメラを用いた 3 次元動作解析 システムの研究開発』(研究分担者)
2019.5(~現在)		一般社団法人スマートアール推進協議会 理事長
2019.9		NSCAジャパンS&Cカンファレンス2019『最優秀口頭発表賞』(共同受賞)
2020.4 (~2022.3)		スポーツ庁委託事業(女性アスリートの育成・支援プロジェクト)『女性 ジュニア・アスリートのパフォーマンス向上とスポーツ傷害予防トレーニン グの創発プラットフォームの構築 ―ネットワークを活用した最先端の「知」 の共有と次世代型指導者の育成システム―』(研究代表者)
2020.9 (~2021.3)		Withコロナ社会提案公募研究プログラム『Withコロナ社会における新たな 大学教育のかたち:遠隔教育における大学生の心理状態を実態把握する 大規模アンケート調査と脳科学研究を統合した探索的研究』(研究代表者)
2020.10(~現在)		バイオメカニズム学会 評議員
2020.10(~現在)		公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団チャレンジ助成事業 審査委員長
2021.4(~現在)		一般社団法人日本体育・スポーツ・健康学会 理事
2021.4 (~2023.3)		科学研究費助成事業「挑戦的研究(萌芽)」『サルコメア長の可視化に基づく、 反動動作による筋力増強メカニズムの解明』(研究分担者)
2021.4 (~2024.3)		科学研究費助成事業「基盤研究(C)」『スマートウォッチによってジャンプ 運動中のバネ的振る舞いを評価するシステムの開発』(研究分担者)
2021.5(~現在)		公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団チャレンジ助成事業 審査委員長
2021.6(~現在)		一般社団法人日本体育・スポーツ・健康学会 理事
2021.6		日本経済新聞朝刊『交遊抄』掲載
2021.8(~現在)		ヤマ八発動機株式会社との共同研究プロジェクト「感動(KANDO)を科学 する」締結(研究代表者)
交遊抄		驚異のスピード 伊坂 忠夫 State + vord Busin tel
るは進造身に乗のェマ整後、観だれ、大す記なとぬラ ハ念団立 。でもすめにさりスクハ日の研報間にあらきもグビンスポー ごもでも帰った。これでは、はしまた、一 でいるでは、はしまた、一 でいるでは、はしまた。これでは、は、しまた、一 でいるでは、は、しまた、一 でいるでは、は、しまた、一 でいるでは、は、しまた、一 でいるでは、は、しまた、一 でいるでは、は、しまた、一 では、これでは、は、しまた、一 では、これでは、は、しまた、一 では、これでは、は、しまた、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは		

である大学でも最先端の研究を推 けられたものなのだろう。知の何 - ド感は驚異的。「もっと面白い エテーマの話題で盛り上がると、 を使ってでも回答なさっていた。 する柳さんの姿勢に感激した。 はスポーツへの愛情の深さ、 れていた。スポーツ科学を専門と は、10年以上前の選手の名前のみ かある。ラグビーの話題になった 一部への愛着と応援には並々ならんは大のスポーツ好き。とりわけ 学を務めている。財団の10周年記 た、ヤマハ発動機スポーツ振興財 配を示していただいたと感じてい にはスピード感が大事。柳さんに はないか」という企業文化を大事 テームをつくられた。 決断と行動 の席でご一緒したこともある。 フィーでお目にかかったのがヤマ が・ただお

一立命館大学副学長) に立命館大学との共同研究プロジ 一番に社員に指示を飛ばし、ヤ ・ 合館大学で特別講義をしていた。 の柳弘之会長だ。 い人柄で、じっくりとお話をさ 出身高校やエピソードも克明に 少振興を目的に2006年に設 挑戦を続けてきた経営者として



2022.4 (~現在)

総合科学技術研究機構スポーツ健康科学総合研究所 所長

2022.8(~現在)

スポーツ庁委託事業(女性アスリートの育成・支援プロジェクト)『女性アスリートのための次世代型の課題解決マニュアルおよび手順書の実装-アスリート育成パスウェイを考慮した学びシステムの構築と併せて-』(研究代表者)